



移民の子である少女が名門音楽院に編入するも、世界中で女性指揮者はわずか6% 巨匠チェリビダッケに師事し、オーケストラを立ち上げた実話を描く驚きの感動作

本作は現在も精力的に活躍の場を広げているディヴェルティメント・オーケストラを立ち上げた一人の少女と仲間たちの物語。指揮者を目指すアルジェリア系のザイア・ジウアニは、パリの音楽院への編入をきっかけに、巨匠セルジュ・チェリビダッケに指導を受け、時に厳しく時に温かく対話を重ねていきます。そうして音楽を学ぶ中で、貧富の格差なく誰もが楽しめるように、パリ市内の上流家庭出身の生徒たちと移民の多いパリ近郊の地元の友人をまとめ、垣根を超えたオーケストラ「ディヴェルティメント・オーケストラ」を結成しました。この実話を映画化したのは『奇跡の教室 受け継ぐ者たちへ』の監督マリー＝カスティュー・マンシヨン＝シャルル。主要キャスト以外の配役は現役音楽家を抜擢し、シューベルトの「交響曲第5番 変ロ長調」やサン＝サーンスの『サムソンとデリラ』といった数々の美しい有名クラシック音楽が、実際に演奏しながら撮影されました。

移民という点で差別的な扱いを受け、「女がマエストロになれるかよ」と馬鹿にされるも、師となるチェリビダッケとの交流、次第に一体感を増していく仲間との練習など、人と人をつなげる「音楽」の持つ力を信じ、自らの夢をあきらめないザイア。彼女の情熱に心震える本作を、同じく女性指揮者が登場するセンチュリー豊中名曲シリーズ Vol.37 が開催されるこの3月にぜひご覧ください。

© Easy Tiger / Estello Films / France 2 Cinéma



あらすじ

パリ近郊の音楽院でヴィオラを学んできたザイアは、パリ市内の名門音楽院に最終学年で編入が認められ、指揮者になりたいという夢を持つ。だが、女性で指揮者を目指すのはとても困難な上、クラスには指揮者を目指すエリートランベールがいる。超高級楽器を持つ名家の生徒たちに囲まれアウェーの中、ランベールの仲間たちには田舎者とやじられ、指揮の練習の授業では指揮台に立っても、真面目に演奏してもらえず、練習にならない。しかし、特別授業に來た世界的指揮者に気に入られ、指導を受けることができるようになり、道がわずかに拓き始める――。

2026. 3/6 Fri.

11:00/14:30/19:00

※開場は各上映開始の15分前

豊中市立文化芸術センター 中ホール
(アクア文化ホール)

チケット【全席自由】

一般 ¥1,000 (club CaT ¥900)

ペア ¥1,800 (club CaT ¥1,600)

※障害者割引あり。障害者とその介助者は2割引。
障害者割引の取扱は文化芸術センターチケットオフィス
窓口・電話のみ。

※車いす席をご希望の方は文化芸術センターチケット
オフィスにお問い合わせ下さい。

チケット発売日

club CaT 先行

2025年12月4日(木)～12月10日(水)

※WEB・電話のみ受付。(先行期間中の窓口販売は行っておりません)
※初日は10時より開始。

一般発売日 2025年12月11日(木)

※初日は10時より窓口・WEBにて受付開始。電話は同日15時から。

【チケット・お問合せ】

豊中市立文化芸術センターチケットオフィス

06-6864-5000 (10:00-19:00 月曜・年末年始休館)

オンラインチケット <https://www.toyonaka-hall.jp/ticket/>

【プレイガイド】

ローソンチケット (Lコード 54154)



豊中市立文化芸術センター

〒561-0802 大阪府豊中市曽根東町3-7-2

阪急宝塚線「曽根」駅下車 東へ約300m(徒歩5分)

※駐車スペースは限られております。ご来館の際には、
電車・バス等の公共交通機関をご利用ください。